



九州大学 スーパーグローバル大学創成支援事業のロジックモデル

戦略的改革で未来へ進化するトップグローバル研究・教育拠点創成



Open Mind, Creative Spirit
KYUSHU UNIVERSITY

背景

- ▶ 経済社会・高等教育のグローバル化
- ▶ 生産年齢人口の減少
- ▶ デジタル革命・イノベーション創発の必要性
- ▶ 都市一極集中と地方創成
- ▶ 存在感ある国づくり：高等教育外交

求められる大学の役割
＝国の成長を牽引する知的拠点

インプット

SGU予算

- ▶ 人件費
特定有期外国人教員
学術研究員等
- ▶ 物品費
学務情報システム
設備備品等
- ▶ 旅費
留学生リポート
職員の海外研修等
- ▶ その他
海外拠点運営
英語版ウェブサイト改訂等

自主財源

- ▶ 競争的資金
- ▶ 寄付金等
- ▶ 運営費交付金等

アクティビティ

1. 教育システムの国際化推進

- ① 共創学部設置
- ② 教育改革推進本部の拡充
- ③ グローバル学生交流センターの設置
- ④ アクティブ・ラーニング推進の推進
- ⑤ 国際コース・DDプログラムの拡充
- ⑥ 短期留学プログラムの拡充

2. 研究の国際化推進

- ① IIR研究教育機構の設置
- ② アジア・オセアニア研究教育機構の設置
- ③ 人文学協働研究教育センターの設置
- ④ データインテグレーション開始
- ⑤ 若手研究者支援制度の整備
- ⑥ 研究支援分析ツール導入

3. 国際化を支えるガバナンス・制度改革

- ① 持続的人材育成戦略（ルネサンス・プロジェクト）
- ② ダイバーシティの推進（SENTAN-Q）
- ③ 推進体制と戦略の整備
- ④ 活性化制度による部局組織の改革
- ⑤ 人事制度改革
- ⑥ IR室の設置
- ⑦ 職員の国際化研修

4. 国際的評価の向上

- ① 国際広報の強化
- ② 国際会議の招致
- ③ RMセミナーの開催
- ④ コンサルティングの活用

5. 留学生・外国人研究者に対する環境づくり

- ① 伊都キャンパス・国際村の整備
- ② 部局レベルの国際化対応組織の充実
- ③ 学内文書の二言語化

6. 海外拠点の整備充実

- ① 戦略的パートナーシップの推進
- ② アカホイス（IRU）の設置
- ③ 海外大学連携の強化（RENKEI-UK、MIRAI-スウェーデン）

アウトプット

徹底した大学改革と国際化

A. 国際化関連 [1,3,5,6]

- (1) 大学内の多様性が増大
- (2) 学生の国際流動性が増大
- (3) 学生の派遣・受入体制が整備
- (4) 学生の語学力が向上
- (5) 教務システムが国際化
- (6) 大学が国際的に開放

B. ガバナンス改革関連 [3]

- (1) 人事制度が改善
 - ・年俸制の導入が拡大
 - ・外国人教職員の雇用が促進
 - ・事務系職員の高度化が促進
- (2) ガバナンスが改革
 - ・事務系職員の高度化が促進
 - ・意思決定に外国人が参画

C. 教育の改革的取組関連 [1]

- (1) 教育の質が改善
 - ・教学マネジメントが波及
 - ・TA制度が改善
- (2) 大学の入試が改善
 - ・多面的な入学者選抜が促進
- (3) 柔軟なアクティビティ・パスを提供

D. 研究力の強化関連 [2,5,6]

- ・フラッグシップ研究が多様化
- ・国際共著論文が増加
- ・若手研究者が増加

E. 国内外の認知度向上 [1,2,3,4]

- ・研究者評判/雇用者評判が向上
- ・大学ランキングが向上
- ・広報関連インテラルコミュニケーションが向上

初期アウトカム

I. ガバナンス [A, B]

- ・国際化を組み込んだ意思決定
- ・透明かつアカンタブルな意思決定
- ・ITで重視の政策決定
- ・国際化への学内意識の醸成

II. 組織 [A, B]

- ・キャンパスの国際化が浸透
- ・人事システムの整備
- ・事務職員がグローバル化が浸透
- ・自律的な組織改革の定着
- ・自己資金調達力の向上

III. 教育・研究（バリエーション）[A, C, D]

- ・教職員が多様化
- ・学生の国際流動性が向上
- ・留学支援体制（受入/派遣）が強化
- ・質の保証を伴った国際水準プログラムの展開
- ・研究者の国際流動の強化
- ・優れた研究/高度な研究を生み出す環境の醸成

IV. レピュテーション [C, D, E]

- ・国際情報発信思考の定着
- ・知名度、ブランド化の進展

他大学への波及

- 大学国際化の技法の波及
- 大学の九州ブランド・日本ブランドの展開

中長期アウトカム

大学の体質改善により
組織文化が変化

研究・教育ポート
フォリオの組換え

- ・世界標準の教育研究の拡大
- ・学術基礎から社会実装までカバーする研究力
- ・イノベーションの創出

グローバルハブ
キャンパスの形成

- ・多様で秀逸な人材が集結
- ・多文化共生の定着
- ・世界的リーダーの育成拠点
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）を基盤とする国際化
- ・未来型キャンパス創出

補助金終了後の
自走化

成果の普及

外的要因

コロナ禍による
グローバル化の変質

- ▶ 世界経済の停滞
- ▶ 国際的流動性の縮小
- ▶ 新常態の出現

インパクト

活躍する人材

- ・世界と伍して活躍する人材の輩出
- ・イノベーション創出を担う人材、学術研究をリードする人材、豊かな経済発展を支える人材としての活躍

新たな知/深まる知

- ・技術革新への貢献
- ・地球規模課題解決に向けたアイデアを生み出す
- ・人間や世界を理解、認識の深化を先導する知性

世界をリードする

- ・九州経済を牽引、国際競争力の原動力
- ・未来を共創する大学
- ・世界の持続的発展に貢献する
- ・地球環境と人類社会への貢献

高度な頭脳循環・優れた人材育成基盤の確立

国際競争力の強化

国際通用性の向上

九州大学の 理念の具現化

自律的に改革を続ける
教育の質を国際的に保証する
常に未来の課題に挑戦する

活気に満ちた
世界水準の研究教育拠点

